ほんやら洞のべんさん

つげ義春

越後魚沼群地帯の部落
には〃鳥追い〃という
豊作を祈る行事がある
小正月に行われるもの
でこの日子供たちは
ホンヤラ洞という
雪のカマクラを作り
楽しい一夜を過す

町はずれにある
べんさんの宿は
べんさんが横着を
して屋根の雪おろ
しをしないので
ホンヤラ洞のような
恰好になっていた

おれんところにはもう半年近くも客がこねんでおれはくさってたとこなんだ

しかしおれは宿屋をやめたところでほかにどうするあてもないいんだ

こんな在では場所が悪いんでしょうね

しかたがねえや昔からここにあったんだから

それでも昔は明石チヂミや小千谷チヂミの行商人で結構繁昌したんだぜ
お前さまはどんな商売をしているのかね

ぼくはマンガを描いています

ふ〜んマンガって商売は儲かるかね

あまり儲かりません

儲からないのになぜよさないのかね
しかたがないのです

するとお前さまは不遇なんだね

ところでぼくは夕食がまだなんですが

それは困ったのまさか客がくるとは思わなかったからの

この魚でまにあわせてもらうかいな

この赤いまだらは金魚ではないですか

錦鯉だよ隣村で養殖しているのを盗んできたのさ

ガリ
グオーッ

気味が
悪かったら
皮をむけば
同じこと
さ
グオーッ

もしもし
おやじさま
寝てしま
っては
困り
ます
グオ
ぼくの
部屋は
どこです
かね

そこに
フトンが
あるよ

さぁフトンを
敷いたから
寝て下さい
すまない
すまない

おれはすっかり
酔ってしまった
ようだね

お前さまは正月早々こんな雪の中をなにしに来たのかね
ただ何となくです

何となくではわからんがな

お前さまは本当はさびしいのではないかね

ぼくは旅行が好きなんです

こういう宿屋に泊るのが好きなんです
お前さまは変り者だねやれやれねるとしよう
グオーッ
グオーッ

カーン
カーン

セッ
カー

おーい
おやじさまは
朝はやくから
何をしている
のですか
赤魚を
とっている
だよ

やあ
これは
ハヤです
ね

冬場は岩の下に
もぐってる
からな
釣れない
のだよ

これで叩くと
やつら目を
まわすからな
そのスキに
網ですくう
のさ
よし
きた

セッ

カーン

それッ
お前さま
魚が
浮いたぞ

おや？
お前さまは
どうかした
のかね

いい音
ですね
なんだか
しみじみと
する音
ですね

お前さまがボヤボヤしているから魚が逃げてしまったではないか

ぼくはいま……信濃川で魚を獲っているところなんだな…………

さあ今夜はこれで
天ぷらにしようかな
それとも
塩焼きにしよう
かな

ピョンちゃん
お前さまは
今朝は便所へ
行ったかね
まだ
です

おれは
ほら
火鉢を
入れといたぜ

ゆっくりと
ウンコを
すると
いいよ

その間に
おれは町へ
買出しに行って
こよう

さあ
いそがしく
なって
きたぞ

おやじさまはぼくのために買出しに行くのですか
そうさゆんべは何もなくて悪いことしちゃったからな

でもぼくはすぐ帰りますけど

なんだゆっくりしていけばいいのに

ぼくはゆっくりしたくとも遊んでいられる身分ではないのです
それならここで仕事をしたらどうだろう

旅の気分にひたりながら仕事をするのも悪くないと思うがの

でももし仕事ができなかったらぼくは生活費を相当使いこむことになるだろうね

なにそんなに真剣になることないさ

気楽にやっちゃいなよ
ほら机だってあるぜ

けっきょくマンガなんてのは・・・のらくろみたいなもんだろ
そんなもんです

冒険ダン吉みたいなもんだろ

しかしスジがないとどうにもならないのです

あれ？
マンガってのはそういうのを見て描くのじゃないのけ

そうじゃないんです
ふうんすると何を見て描くのかね？

たとえば
あの兎の
名前
……
ピョンちゃん

あれは
おやじさまの
仕業とは
思えない
ね

あれは
子供が
ペットに付ける
名前では
ないでしょう
か

それに
こういう宿屋を
おやじさま一人で
営業しているのも
合点がいかない
のです

そういう
事情が
マンガの
材料に
なるの
です

……
……
……

ちえッ
この頃の
マンガは
タチが
悪いや

でもついでだから紙とペンを買ってきてもらおうかしら
そうさ

お前さまはここで頑張らなくちゃいけないよ

不遇な身の上を嘆いてみてもはじまらないよ

さーアおれも頑張るぞ

カチ
カチ

おやじさま
どこかで
ショウシ木の
音がきこえる
ね
カチ
カチ

今夜は
鳥追い祭
さ

カッチ
カッチ

カッチ

お前さまは
まだスジは
できないの
かね

ぼくはやっぱり
駄目な
よう
です

すると
お前さま
は明日
帰ると
いう
わけか
ね

おやじさま
はこれから
先………
どうする
のです
か？

だから
どう
する
アテも
ないの
さ

そうだ
錦鯉の
飼育を
やってみたら
どうだろう

この地方では
盛んだそう
じゃないです
か

さいわい
裏に
池もあるし
きっとうまく
いくと思うよ

ふん
あんな
小さな
池で
何ができる
というの
かね

このあたりの
百姓は
裏作の代りに
田圃を
池にして
やってる
から
儲かるのさ

そして
儲かる奴は
でかい口を
きくのさ

だから
おれは
……

そうだ
おれは今夜
鯉を
盗みに
行こう

おやじさま
それはいけないよ
ヤケをおこしては
いけないよ
なに
かまう
ものか

おれとしては
こんなユウウツな
夜に泰然と
しているわけには
いかない
のさ

お前さまは
そういう気分
にはならない
のかね
それでは
見学を
させて下さい

隣村まで
遠いの
ですか
一里
半だ

みろよ
すごい池
だろ

奴ら
しこたま
もうけて
いるのさ

お前さまは見張りをたのむぜ

父ちゃん
ギョッ

父ちゃんなにしてる
お前こそこんな所で何をしているのかね

あたい鳥追い待ってるの

そうかそうか今夜は祭だっけのう

母ちゃんはどうしているかな
ナンミョーホーレンゲキョ

ふーん相変らずか……

いいかね父ちゃんが来たことはだれにも云うんじゃないよ
あたい云わないよ

それ
みんな
来たよ
カッチ
カッチ

とりッ！
この
鳥や

どこから
追って
きた
信濃の
国から
追って
きた

なにをもって追ってきた
カッチカチッ
柴を抜いてカヤ抜いてきた

スズメスズメ
すはどり立ちゃかれ

ホーヤラ
ホーヤラ
ホーイ
ホイ

ホイ
ホイ
ホイ
ホイ

あそこは奥さんの実家だったのですか
一家ぐるみでつまらねえ宗教なんかに凝りやがってよ

鯉の商売がうまくいっているのも信心のおかげだとぬかしやがる

それじゃこうやって大切な鯉を盗まれたりするのもこれも信心のうちかね

笑わせるなッてんだよ
すると奥さんもおやじさまに信心を勧めるわけですね

そうすりゃ宿の商売が繁昌すると思ってやがんのさ単純だね

ところでおやじさまこの鯉はどうするつもりなの
この池ん中にでもほうり込んどけばいいさ

おれは毎日この鯉を眺めて暮そう

そうすりゃそのたびにざまあみろという気持になるんだ

あれ？この鯉はようすがおかしいよ

曲ったままコチコチだよ

おそろしい寒さだね
………

そういえばあそこから三時間もかかったんだものね

ねえ
おやじ
さま
ぼくたちは
けっきょく
この雪の中で
何をしていた
のだろう
グイ
景色の
点景として
みたら
さしずめ
どんな趣き
なのかしら

ボ
ボ
ボーン

完